



「環境に優しい製品、職場環境の改善、人材の確保・育成に注力しています」と話す長島社長

「社員あつての会社、社員は大事な宝物」と話す同社の長島社長に話を伺いました。

■貴社の概要について、教えてください。

長島 エアゾールスプレーの充填工場です。エアゾールとは、容器の中に噴射剤と内容物を詰め、ボタンを押すとガスの圧力で内容物が霧状に噴出し、密着して乾いた表面がスムーズであることが定義の製品です。ウナテックの親会社が東京のロイド株式会社で、私はその代表も兼務しています。ウナテックは多くの製品をロイドから受託して製造しています。ただ充填工場ですので、ロイドの製品のみならず、さまざまな製品を製造しています。当社の特徴としては、小ロット、多品種、短納期がモットーですので、スプレー 12本(1 ダース)から製造できる会社です。ロイドは創業して64年間、スプレーをつくり続けています。ウナテックは東京の練馬からこの埼玉に移転して29年。ロイドの100%子会社になったのが5年前の2019年です。受注・卸販売はロイド、製造はウナテックという形で、私が社長に就任して10年がたちます。

ウナテック株式会社



所在地 東松山市新郷88-80
 代表者 代表取締役社長 長島 由佳 氏
 事業内容 エアゾールスプレーの製造
 資本金 9,000万円 従業員数 32名
 TEL 0493-23-6991
<https://www.unatech-inc.co.jp>

ウナテックは液充填してスプレーを製造する会社で、中身の液自体はお客様からの支給や、当社で調達しています。色からつくるもの「調色品」はロイドで製造しています。製造の80%がロイドの製品でほぼ塗料です。残りの20%はウナテックが独自のお客様を持っていて、クリーナーや防水スプレー、潤滑油などの一般雑貨をスプレーにしています。エアゾールにできる原料は、何でもスプレーにします。昔から小ロットが得意な会社で、今では12本単位でできる会社も増えてきてはいますが、当社が独占企業でありました。また、即納ができる会社なので、原料や資材があれば次の日に出荷できます。ですから、小ロット、多品種、短納期がロイドとウナテックのモットーです。

■製品について、教えてください。

長島 ロイドの黄色い缶の「タッチアップスプレー」は今では日本の産業界・工業界ではブランド化されていて、「黄色い缶」というだけで、当社ブランドとして商品確立されています。全塗装ではなく補修用のスプレーなので、お客様の工場で塗

小ロット、多品種、短納期が強みの会社



看板商品の「タッチアップスプレー」ラインアップ



環境に優しく、ワイドに塗れる環境対応型塗料「ロイド エコタイプスプレー」は、次世代へ安全と安心を伝える、25色をラインアップ



2液での補修用スプレーを小ロットで提供できる新商品「タッチミキシングキット」(左からボタン、アダプター、硬化剤、主剤、ビニール袋)

装があれば必ず補修があり、塗装後の塗りむらや傷の補修に使われます。タッチアップは補修という意味で、補修用スプレーとしては、当社が先駆者です。製品構造や部品も特許の塊、技術の塊です。缶の中で化学変化が起こる可能性があるので、新製品の場合は半年ぐらい安定性を見ないと出荷ができません。お客様からのさまざまな要望・要求をエアゾール化して、納めています。エアゾールスプレーはCO₂をほとんど排出せず、100%リサイクル。使い勝手が良く環境にも優しい製品です。しかも水性塗料に比べすぐ乾き、利便性があり安いのです。使用後の缶は溶解してリサイクル、さまざまな物の原料として再利用されています。

■リクルーティングについて

長島 年間134日休みがあるワーク・ライフ・バランスの会社で、平均年齢は40歳です。時短営業で実働7時間、残業ゼロ、もちろん賞与も出しますので、大手求人サイトから若い人がたくさん応募してくださり、働いてくれています。皆さんのおかげで会社が成り立っています。

現場の環境を良くするのが私の仕事です。環境の良さは労働基準監督署からお墨付きをいただいています。社員あつての会社ですので、私にとっては大事な宝物ですから、磨かせてもらっています。

■今後の展開・抱負は

長島 当社の品質管理開発部では、こんなものがスプレーにできないかとか、水性のスプレーなど1本から製品化に注力しています。エコタイプや環境に優しい素材のものも取り入れて、研究開発しています。今後原料メーカーが小ロットを製造しなくなるとすると、調色品が増えていくと思いますので、お客様の要望に応じていきたいです。

小回りが利く会社ですので、サンプル品的な小ロット、短納期のスプレーは当社にご相談いただければ、ご対応いたします。例えば、潤滑油、旋盤などのクリーナーなど、ありとあらゆることができますので、お客様と共に成長していきたいと思えます。お互いにいろいろなアイデアを出し合いながら共存できる会社でありたいと思っています。